資料

連合会・競走会篇

連合会役員就任一覧

会長、副会長、理事長、専務理事、常務理事、常任理事

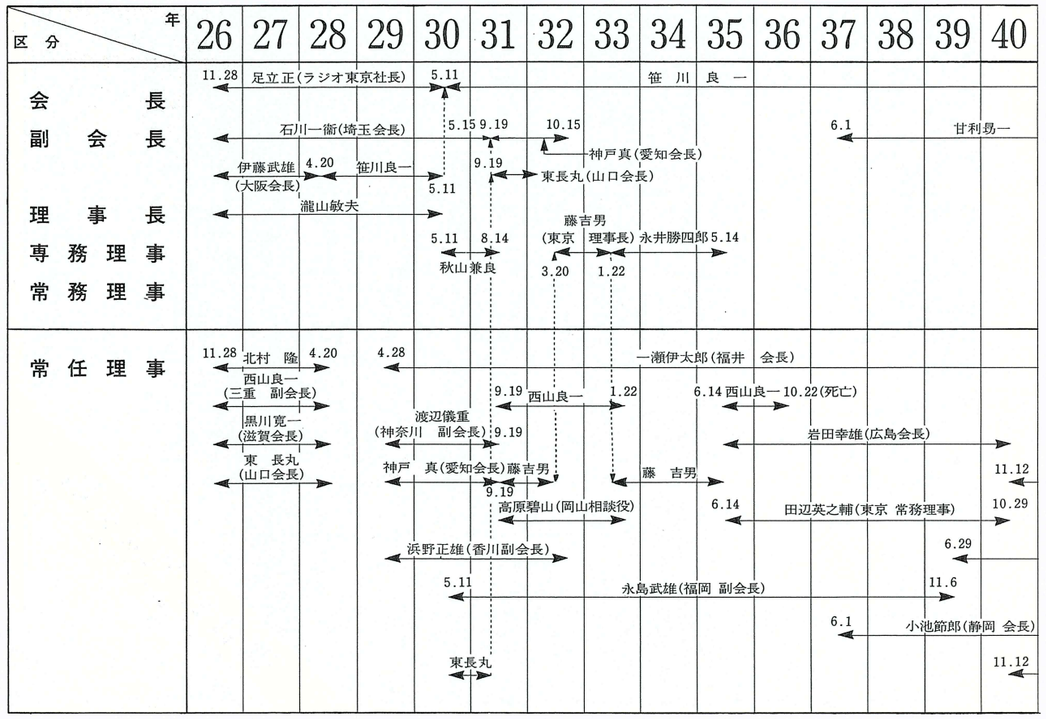
初代会長　足立　正

第2代会長　笹川良一

副会長　石川一衛

副会長　伊藤武雄

副会長　神戸　真



副会長　東長丸

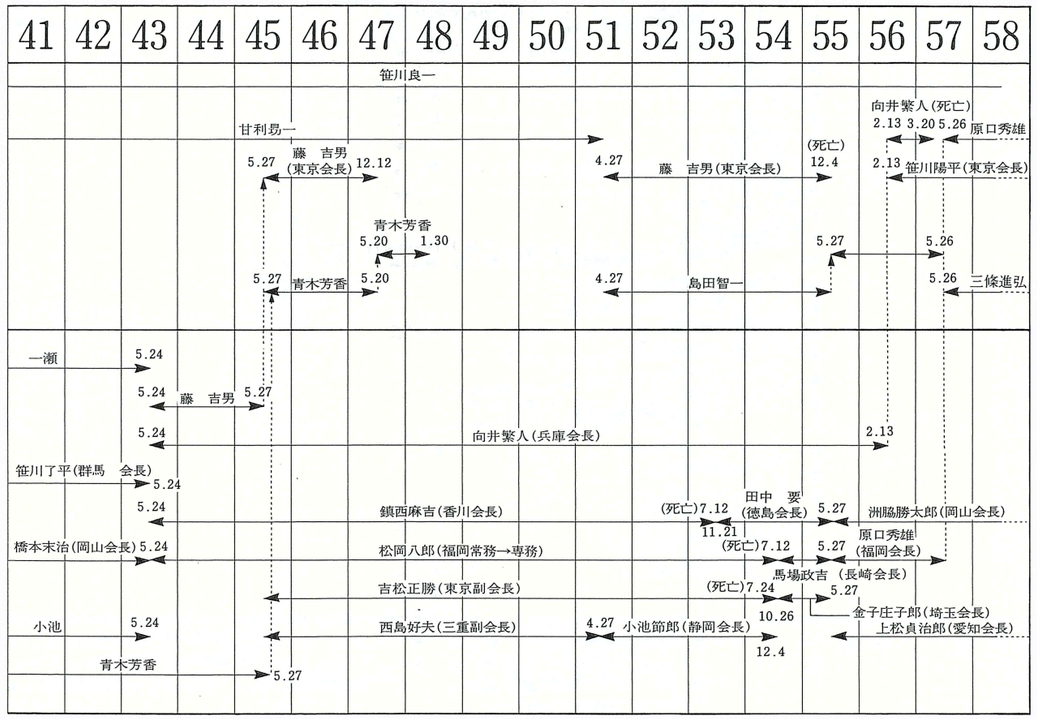
副会長　甘利昌一

副会長　藤吉男

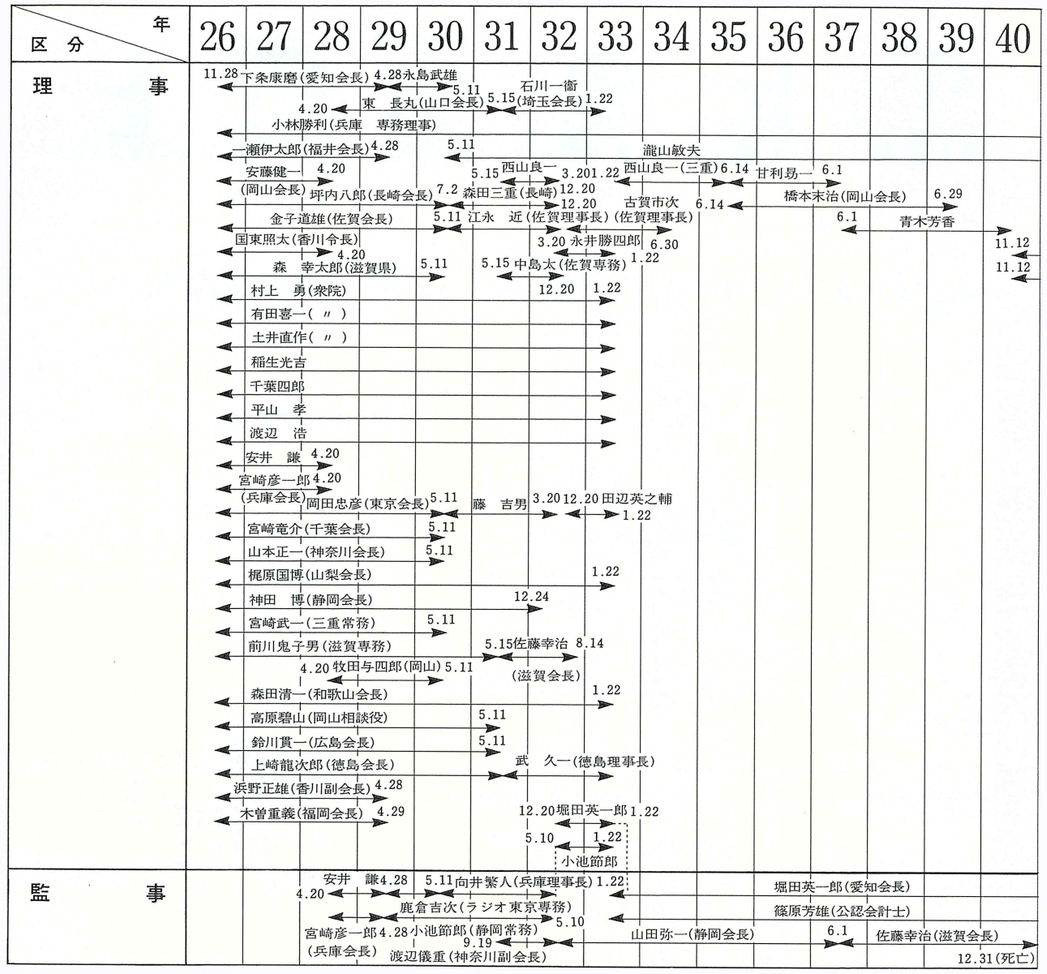
副会長　向井繁人

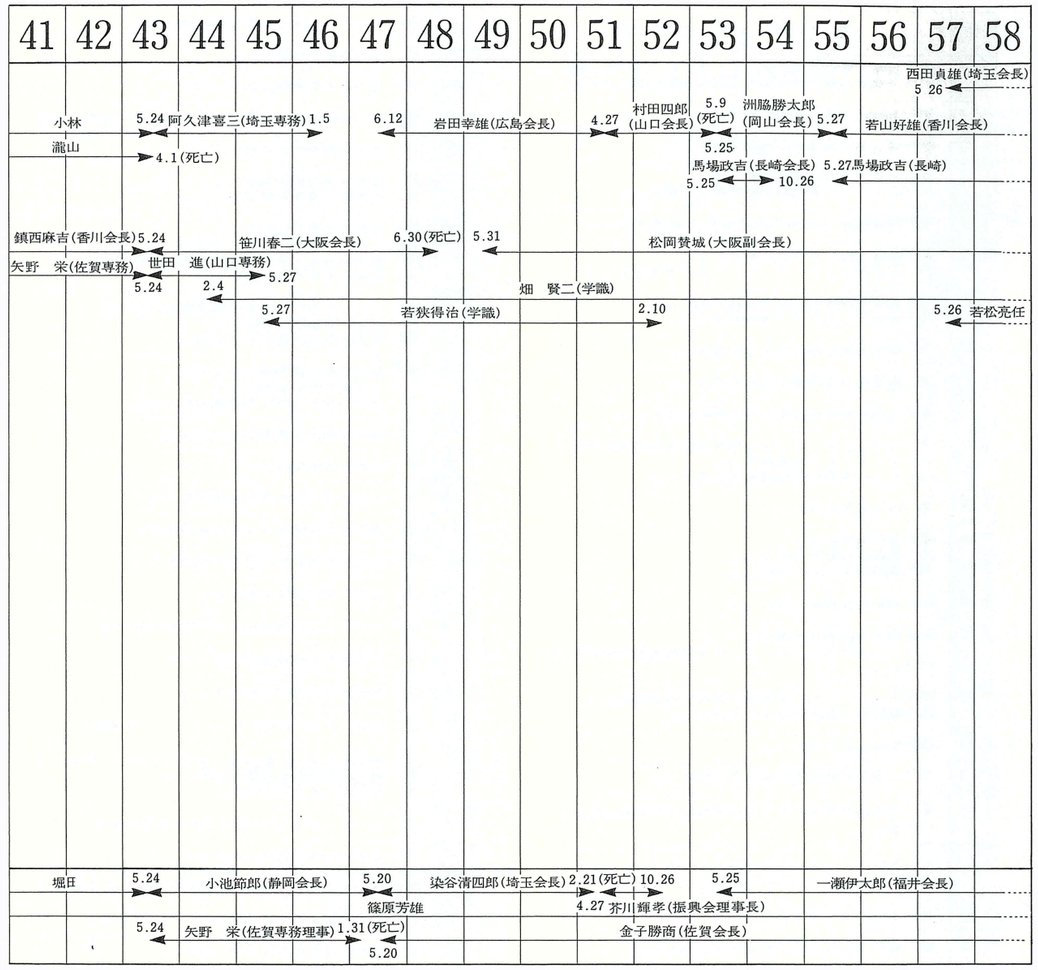
副会長　笹川陽平

副会長　原口秀雄



連合会役員就任一覧　理事、監事





常任理事会主要審議事項
（昭和26年度～29年度は常務理事会）

年月日	審　議　事　項
26.12.26	選手、審判員の養成、ボート・モーターの調達、競走場の建設、諸規程の作成等競走指導大綱の決定
27. 3. 3	初開催地は大村競走場と決定
9.22	検査員・整備員の公認制度を承認
11.28	冬期レースの開催対策決定 フライング失格者の配分停止実施を決定
28. 2.16	選手傷害制度「中央競艇共済金庫」の設置承認
5. 7	褒賞懲戒に関する規則の制定 海の記念日モーターボートレース開催を決定
7.17	選手会連合会結成の指導方針を決定 夏季１日13レース制実施の決定
9.21	第１回全国選手権大会実施の決定
10.27	選手講習会（再訓練）実施を決定
11.26	連合会事務局中央区明石町に移転を決定
29. 1.21	学生モーターボート連盟の設置と育成及び模型モーターボート大会実施を決定 売上向上対策臨時委員会設置を決定
2.25	選手級別制度の決定
5.19	連合会内規を決定 発明考案作品募集を決定 報道機関対策の樹立承認
6.19	特別競艇実施要領の決定
8.23	完走運動月間実施要領の決定 インボード競走及びジェット推進機試作委員会設置の決定
9.16	写真コンクール及び競走場写真集作成の決定 特別観覧席の設置指導方針を決定
30. 1.21	格差配分方針を決定
5. 9	大島～東京間長距離航走実施の決定
5.18	第１回常任理事会で理事長制から専務理事制へ移行の決定
6.13	モーターボート記念競艇の制定を承認 予想業者コンクール実施を決定
9. 8	日本水上スキー連盟結成の承認
11.15	第１回競走自粛対策研究会開催を決定
31. 7.26	ボート・モーター検査基準制定の承認
8.22	連合会創立５周年記念各種行事の決定
9.17	モーターボート選手管理規程の制定
10.31	選手精鋭化要領の制定
11.26	連合会の選手養成開始を決定
32.12.16	昭和32年競走法改正に伴なう諸規則・規程の承認
33. 7.25	売上対策研究会設置を決定
9.10	審判員再訓練開始を決定 選手技能検定試験要領の制定
34. 1.12	審判員養成計画の決定
2.13	選手出場あっせん規正委員会設置の承認 連合会長賞交付規程の制定
3.10	モーターボート選手精鋭化要領廃止決定 調査委員制度設置の承認 整備員公認制度の廃止を検討
4.16	競技委員長講習会開催を承認 二重針大時計採用の決定 選手出場あっせん保留基準案の承認
4.24	日本船舶工業振興会設立を決定
8.22	検査員養成開始を決定
11. 6	短波による海上気象通報実施の決定
35. 3.10	選手養成期間を３ヵ月に延長の決定
4.27	箱根競走会幹部研修会の実施を決定
8. 5	選手、臨時訓練実施を決定
12.16	フライング返還実施の為に諸規程を整備
36. 1.12	法律改正対策委員会設置を決定
4.21	選手臨時訓練打ち切りを決定
6.19	東京～大阪太平洋1,000キロマラソン実施の決定
37. 1.19	選手養成費の一部貸与に関する取扱い要領の承認 救助艇及び救助艇要員基準の決定 選手携行工具基準の決定
2.26	モーターボート競走PR巡回写真展実施を決定
3.16	連合会職員の現地出向実施を決定
10.19	昭和37年競走法改正に伴なう諸規程の改正を承認
12.25	検査員認定制を廃し登録制への移行を決定
38. 3.14	施設改善記念競走実施要領の決定

5.23	選手能力検定試験要領の決定
8.21	スタート実技試験実施要領の決定 事故点を復活した選手級別決定基準の改正を承認
39. 3.26	競技運営指導委員会設置を決定
6.17	整備競技大会実施を決定
8. 1	本栖養成訓練所建設計画の決定
11. 6	モーターボート選手管理規程改正を承認
12.12	選手養成期間を５ヵ月に延長決定
40. 1.13	鳳凰賞競走の設置決定
2.22	スタート事故者の即日帰郷制実施を決定
7.21	永年功労者表彰規程の決定
12.24	競技運営方式（展示時の挙手礼の廃止、１マークを廻って帰投する）の全国統一を決定
41. 7. 9	選手制服制定を決定
11.27	家族ぐるみ善導運動実施を決定
42. 3.18	事故防止対策委員会設置の決定
2.25	競走会一般職員の教育訓練実施を決定
8.22	無事故選手褒賞規程の制定 スタート事故者即日帰郷制廃止の決定
43. 9. 3	本栖ゴムボート大会実施の決定 勝舟投票券自動発売集計装置開発研究実施の決定
9.28	救助艇要員講習会実施の決定
44. 1.15	執行委員長、執行副委員長会議開催の決定
2.26	全国競艇関係者武道大会開催の決定
3.13	モーターボート会館建設予定地の購入を承認
4. 5	１・２級整備士制度設立の決定
10.13	選手養成期間の１年間延長を決定
3.25	研修所名誉教官委属の決定
45. 8.25	各地競走場の騒音測定実施を決定
9.14	競走会職員の連合会出向を決定
11.27	実務者養成期間の５ヵ月延長を決定
46. 1.10	法制定20周年記念行事実施の決定
7.26	審判員・検査員養成期間を１年間延長を決定
11. 9	広報委員制度の新設を決定
48. 2.26	選手養成訓練第２次入所試験委員会制度の決定
6. 9	全国地区対抗競走を廃し笹川賞競走設置の決定 選手管理規程解説の改正を承認
10.22	連合会職員の競走会出向実施を決定
12.11	海洋博及びB・G財団に対する拠出金の承認
49. 6.18	競技運営諸制度研究委員会の答申（Ａ級制帽の廃止 無事故選手報奨規程の廃止等）の承認
9.20	モーターボート整備士褒賞式典実施の決定
50. 3.27	日本モーターボート会館管理組合の発足を承認
6.18	競走場ヨット教室実施を承認
10.18	中央情報処理システム導入の決定
51. 1.21	危険信号灯、チェッカー灯の全国統一を承認 選手出場あっせん保留基準第８号の承認
6.25	優秀選手表彰規程の承認
8. 7	中央情報処理第２次システム導入の決定
52. 9.20	12秒針大時計の採用を決定
53. 3.15	競走用ボート中間検査要領の決定 宇宙博推進本部設置の決定
54. 1.24	第２研修所建設委員会設置の承認 モーターボート選手取材要領の決定
56. 4.20	競走法制定30周年記念式典実施の決定 昭和56年度を競艇元年として思い切った改善策の実施を決定
10.28	競走会業務推進の要点（各競走場の売上向上対策委員会の設置、競走会業務の拡大等）の決定
57. 2.22	選手級別決定基準に複勝率の導入及び特別競走開催要綱に優先出場条項設置の決定
11.29	救命胴衣検査基準、モーターボート競走用硬質ヘルメット検査基準及び救命胴衣検査要領及びモーターボート競走用硬質ヘルメット検査要領の承認 選手出場あっせん基本方針の一部改正承認

年月日	事　　柄
26.10. 9	連合会設立発起人総会
11.28	連合会設立認可、会長足立　正、副会長石川一衛、伊藤武雄、理事長滝山敏雄就任 事務局　中央区銀座７丁目２ 総務部・業務部・技術部・競技部設置
11.29	第１回総会
12. 8	運営委員会、技術委員会設置
12.26	第１回常務理事会
27. 9. 3	事務局　豊島区目白１―10―57へ移転
10. 1	競技委員会の設置
12.20	連合会々報発行
28. 4.19	笹川良一氏・副会長就任 競技・技術・運営専門委員会廃止
7. 1	業務部を廃し経理部・考査室を新設
11.26	事務局中央区明石町51へ移転
29. 4.28	事務局長配置。業務部・秘書室を新設、考査室は審査室と改称
6.19	法律改正専門委員会設置
12.21	売上増強推進委員会設置
30. 5.11	笹川良一氏・会長就任 理事長制から専務理事制へ移行
8.12	技術部を廃し研究室を、総務部の下に庶務課・調整課を、業務部の下に監理課・調査課を新設
31. 5.15	東　長丸氏・副会長就任
9.19	神戸　真氏・　〃
11.21	審判員の再訓練開始
11.26	研究室を廃し業務部技術課を新設
32. 2.26	連合会、選手養成開始
11.21	審判員の再訓練開始
33. 3.10	事務局組織規程制定 業務部に教養課を、経理部に会計課・主計課を、振興部第一課、第二課を新設し、秘書室の再設、審査局審査課に拡充
8. 1	事務局中央区銀座８―19へ移転

年月日	事　　柄
34. 4.12	連合会第一期審判員養成開始
35. 4.23	連合会第１期検査員養成開始
36. 7. 7	東京～大阪1,000キロマラソンレース
37. 6. 1	甘利昂一氏・副会長就任
6.12	業務部教養課を廃し教養部教養課・器材課新設 経理部を廃し総務部経理課に、調整課を総務部から業務部へ設置
9.11	振興部廃止
39. 3.26	競技運営指導委員会設置
7.22	第１回永年功労者表彰式典
40.11.26	本栖厚生施設建設委員会設置
41. 4.11	本栖厚生施設起工式
4.27	総務部に厚生施設課新設
6.15	モーターボート白書発行
11.28	本栖厚生施設水上スポーツセンター開所
42. 7.16	本栖第１回少年少女ゴムボート大会開催
43. 3.22	総務部厚生施設課を廃し研修教養課・庶務課・管財課新設
9.28	笹川記念会館建設委員会設置
44. 8.20	第１回競艇関係者武道大会開催
45. 5.12	第１回国際レース参加派遣選手団訪欧
9.14	企画研究室新設
46. 4. 1	競走会職員の連合会出向開始
5.31	第２回国際レース参加派遣選手団訪欧
6.18	モーターボート競走法制定20周年記念感謝の集いＢ＆Ｇプラン発表
10. 1	建設部新設
47. 2.16	西ドイツスポーツ少年団一行の本栖研修所訪問
9.22	審査部を廃し業務部審査課設置
10.31	競艇関係者モーターボートスピード記録大会開催
11. 6	本栖研修所校歌制定

年月日	事　　柄
11.30	笹川記念会館起工式
12.12	連合会職員臼井基夫・直島敏夫、本栖湖で殉職
48. 7.23	教育制度研究委員会設置
11.20	トンガ国皇帝本栖研修所訪問
49. 3.23	第１回選手養成訓練修了記念競走実施
8. 1	笹川記念会館上棟式
12. 4	第１回モーターボート整備士褒賞式典
50. 2.28	総務部に広報課・管理課を新設、研修所管財課を廃止
3.27	管理課を廃し笹川記念会館管理組合設置
11. 6	第１次中央情報処理システム運用開始
52. 2.16	第１回年間優秀選手表彰式典
3.11	広報課を廃し企画部新設
53. 9.10	山梨県下の小中学生を宇宙博招待
54. 9.19	吉松正勝永別会
55. 2.26	研修所教養課を教養一課・教養二課に増設、企画部に広報課・電算課の新設
55. 4.10	ノーベル化学賞・平和賞受賞者ライナスポーリング博士本栖研修所訪問
10. 6	第２次中央情報処理システム運用開始
12.19	藤吉男副会長合同葬
56. 1.22	業務課を業務一課・業務二課に増設、企画部に企画課・資料課を新設し電算課を情報管理課に名称変更
2. 7	本栖研修所記録映画「栄光をめざして」全国上映
2.13	向井繁人氏・笹川陽平氏・副会長就任
5.29	博愛の像、笹川記念会館に設置
11.26	連合会創立30周年記念式典
57. 3.12	業務部業部一課・二課を廃し業務課及び技術研究室設置
3.31	ファン拡大推進委員会設置
4.14	向井繁人副会長合同葬

年月日	事　　柄
57.12. 1	中曽根内閣総理大臣笹川記念会館訪問

社団法人全国モーターボート競走会連合会事務局組織図　昭和58年3月31日現在

総務課付	
係長	小原瑞恵
	石塚雅一
	潮田政明
	香川洋一
	菅ノ又純治

常勤嘱託	
秘書室	中川広次
管理組合出向	四分一光男
庶務課	伊藤モト子
〃	赤池ゐよ子
〃	渡辺多喜子
〃	那須とく
専門調査員	田口光男
〃	半田治男
〃	川口亮祐
〃	近田一夫
〃	山口松吉
〃	関繁起
〃	松村志郎
〃	山下哲雄
〃	日高十四男
〃	町田定大
〃	小寺昭
〃	乙木繁人

出向者	
笹川記念会館管理組合	
課長	田原輝人
課長代理	高橋和秀
係長	下徳六男
	土屋勝士
	四分一光男
	篠崎雪子
	荻原保子
日本船舶振興会	
	佐藤幹夫

- 常務理事（兼）事務局長　三條進弘
  - 総務部　次長　武田敏章
    - 総務課　課長（代）　田村坦士
      - 係長　広渡英治
      - 江頭康仲
      - 浜田伸也
      - 川口政二
      - 斎藤志津
      - 越岡和子
      - 黒田真弓
      - 川合ひとみ
      - 今井さつき
      - 佐川恭子
      - 高島尚美
      - 渡辺貴子
    - 経理課　（兼）課長事務取扱　武田敏章
      - 係長　浅見宏
      - 川口京子
      - 門倉弘子
      - 井上英子
    - 秘書室　室長（代）　大西忠男
      - 星野妙子
      - 中川広次
      - 馬場裕子
      - 江頭結美子
    - 業務部　理事（兼）部長　若松亮任
      - 業務課　課長　小島文雄
        - 係長　早川誠
        - 土井克雄
        - 大崎周一
        - 松井恭仁子
        - 天野寿理
      - あっせん課　課長（代）　天城一
        - 係長　渡辺義孝
        - 上原隆
        - 橋本真樹
        - 樋口みさ江
      - 審査課　課長（代）　中武勝征
        - 佐々木裕之
        - 広瀬秀貴
        - 望月恭子
      - 技術研究室　室長　水越良雄
        - 課長　元谷武志
          - 係長　佐々木民雄
          - 原田明治
          - 太田勝久
          - 布山美佐子
      - 企画課　課長（代）　竹中忠勝
        - 係長　大久保平八郎
        - 山名秀高
        - 浦野美智子

- 企画部　次長　宮地真澄
  - 広報課　課長（代）　藤川務
    - 遠山守
    - 浜田喜久
    - 冨永貢一
    - 伴伸子
    - 奥地広美
  - 資料課　課長　橋爪徳臣
    - 係長　平野金幸
    - 清水宏
    - 佐藤晶子
  - 情報管理課　課長　木下靖久
    - 田村周史
    - 山森平世
    - 土屋容子
- 研修所　次長　野上助
  - 教養一課　課長　小野巽
    - 係長　小井川正明
    - 中西由郎
    - 山口一三
    - 新堀一夫
    - 森健三
    - 池田秀紀
    - 小池保夫
    - 畑林章三郎
    - 小林博
    - 成瀬秀樹
    - 堀倉正直
    - 鎌倉浩美
    - 宮下真奈美
  - 教養二課　課長　木下康弘
    - 横塚友二
    - 渡辺里恵
  - 庶務課　課長（代）　小池享
    - 係長　檻畑正人
    - 赤池茂
    - 伊藤誠
    - 古谷静
    - 羽田雄一
    - 前島久子
    - 渡辺美恵子
    - 赤池育代
    - 上田増美
    - 渡辺桂子
    - 奥脇みどり
    - 赤池直美
    - 伊藤モト子
    - 渡辺多喜子
    - 那須とく

	男子		女子	
	職員	嘱託	職員	嘱託
総務部	8	1	14	
業務部	11	12	4	
技術研究室	5		1	
企画部	14		5	
研修所	21		11	4
出向者				
管理組合	4	1	2	
日本船舶振興会	1			
総務課付	4		1	
小計	68	14	38	4
合計	124			